様式(課)１

学　位　授　与　申　請　書

　　年　　月　　日

大阪公立大学長

　　　　　　　　　様

生活科学研究科　　　　　　　　　　　　専攻

氏　名

　このたび、大阪公立大学学位規程第５条第２項の規定により、博士（学術）の学位を受けたく学位論文（　　）部に下記書類を添えて申請いたします。

記

1．論　文　目　録

2．学位論文内容の要旨

3．履　　歴　　書

4．同 意 承 諾 書 （　有　・　無　）

様式(課)２

履　　　歴　　　書

|  |  |
| --- | --- |
| 報告番号 | 甲　　第　　　　　　　　　　号 |
| （ふりがな）氏　　名生年月日 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日生 | 性　別 | 男　・　女 |
| 本籍地 |  |
| 現 住 所 |  |
| （学　　歴）○○年○月　　○○高校　卒業○○年○月　　○○大学○○学部○○学科　入学○○年○月　　○○大学○○学部○○学科　卒業○○年○月　　○○大学大学院○○研究科前期博士課程　○○専攻　入学○○年○月　　○○大学大学院○○研究科前期博士課程　○○専攻　修了○○年○月　　○○大学大学院○○研究科後期博士課程　○○専攻　入学　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（現在に至る）（職　　歴）（研 究 歴）（賞　　罰） |

様式(課)３

論　　　文　　　目　　　録

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 報告番号 | 甲　　第　　　　　　　　号 | 氏　　名 |  |
| 主　論　文　○○○○○○○○○○（※外国語の場合は日本語訳文を、日本語の場合は英語訳文を（　）内に記入してください）副　論　文　○○○○○○○○○○参考論文　○○○○○○○○○○ |

様式(課)４

学　位　論　文　内　容　の　要　旨

|  |  |
| --- | --- |
| 報告番号 | 甲　　第　　　　　　　　　　号 |
| 論 文 名 | （※論文名が外国語の場合は日本語訳文、日本語の場合は英語訳文を（　）内に記入してください） |
| 氏　　名 |  |
|  |

様式(課)５

**学位申請誓約書**

年　　月　　日

大阪公立大学生活科学研究科長　　　殿

私は、提出する学位申請論文について、研究不正を行わず、適正に執筆したことを誓約いたします。

学位論文名学位論文：

（題名が外国語で表示している場合は、日本語訳を併記すること）

　　ﾌﾘｶﾞﾅ

　　氏　名

　　生年月日　　　　　　年　　　月　　　日

　　本　籍生年月日　　　　　　　　　　都道府県

　　現住所　〒

様式(課)６

同　意　承　諾　書

私は、下記の共同研究論文を○○○氏の学位論文とすることを承諾します。

なお、この論文を再び私の学位論文に使用することはありません。

記

論文題目（外国語の場合は、その日本語訳を付記すること）

（論文題目）○○○○○○○○○○

 学会誌・雑誌名，巻号，ページ，発行年月

 　　　　年　　月　　日

 共同研究者

 　氏名

 　氏名

 　氏名

（注）共同研究者が複数の場合の同意承諾書は１人ずつ別葉にしてもよい。

様式(課)７

論文審査の概要表　記載における注意（※注意文は削除してください）

・ＭＳ明朝、１０．５ポイント、全角で記入ください。

・氏名の間は1スペース空けてください。

--------------------------------------------------------------------------------------

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　　名 |  |
| 学位の種類 |  |
| 学位授与年月日 |  |
| 学位論文名 |  |
| 論文審査委員　　主査 |  |
| 副査 |  |
| 副査 |  |
|  |  |
|  |  |

**論文内容の要旨**

**論文審査結果の要旨**

様式(課)８

大阪公立大学学術情報リポジトリへの博士学位論文登録申請書

　　年　　月　　日

大阪公立大学図書館機構長　様

* 私が大阪公立大学に提出した博士学位論文について、全文を本学の学術情報リポジトリに登録し公表することを申請します。
* 私が大阪公立大学に提出した博士学位論文について、全文に代えて要約を公表することが認められたので、要約を本学の学術情報リポジトリに登録し公表するとともに、博士論文全文（冊子）を本学図書館に保管を委託し閲覧に供することを申請します。

（上記のいずれかの1つに☑をしてください。）

 フリガナ

博士論文提出者 氏名（自署）

研究指導教員等※1として、上記を了承します。※2

研究指導教員等※1 氏名（自署）

|  |  |
| --- | --- |
| 論文題目（和文） |  |
| 論文題目（欧文） |  |
| 研究指導教員の所属・職・氏名 |  |
| その他の連絡事項 |  |
| 電子データ提出予定日 | 　　　年　 月　　日（この書類の提出の後に電子データを提出する場合） |

連絡先

|  |  |
| --- | --- |
| 所　属 |  |
| 住　所 |  |
| 電話番号 |  |
| 電子メールアドレス |  |

■リポジトリ登録について共著者の許諾を事前に得ておくこと。

■全文に代えて要約を公表することが認められた場合は、学位論文要約、及び全文の電子ファイルを提出してください。なお、公表できない事由が解消して全文公表が可能となった場合は、速やかに学位論文全文をリポジトリで公表し、冊子体の学位論文は原則として廃棄します。

■電子ファイルは、PDF化して電子媒体にて、教育推進課生活科学部教務担当に提出してください。

■記載いただいた事項は目的外の用途には使用しません。

■連絡先については、修了後も連絡が取れる電話番号、アドレスを記載してください。
 また、電子メールアドレスには、大学から付与されたomuアドレス以外を記入してください。

※1 研究指導教員等：研究指導教員又はそれに相当する者を指す。

※2 公表できない事由が解消して全文公表が可能となった場合、研究指導教員等の自署のみ省略可能です。

様式(課)９

学位論文全文に代えて要約を公表することの

申　立　書

　　年　　　月　　　日

大阪公立大学長　様

申立者　住　所

氏　名（自署）

研究指導教員等　所属･職

氏　名（自署）

|  |  |
| --- | --- |
| 学位取得者氏　　名 |  |
| 学位の名称 | 博士（　　　　　　　） | 取得年月日 | 年　　月　　日 |
| 学位論文名 |  |
| 全文に代えて要約を公表する事由 |
| ☐当該論文に立体形状による表現を含むため□著作権や個人情報に係る制約があるため□共同研究者等が非公表と定めている事項を含むため□出版刊行をしているため　 　　□出版刊行が予定されているため□学術雑誌に掲載されているため　　 □学術雑誌に掲載が予定されているため□特許の申請があるため　　　　　　 □特許の申請が予定されているため□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 要約を公表する期　　間 |  |

※要約公表期間は学位授与日から5年以内（立体形状、著作権、個人情報又は共同研究に係る制約がある場合を

除く）。当初の要約公表期間を延長する場合は、改めて本様式を研究科に提出する。

　※延長する場合には、研究指導教員等自署のみ省略可能。

様式(課)１０

論　文　内　容　の　要　約

|  |  |
| --- | --- |
| 論 文 名 | （※論文名が外国語の場合は日本語訳文、日本語の場合は英語訳文を（　）内に記入してください） |
| 氏　　名 |  |
| （論文のインターネット公表が、やむをえない事由で不可であると本学が認めた場合のみ提出してください。MS明朝　10.5Pで、課題設定、方法論、実験・解析、結論・考察など、当該論文の全体が分かる形で、その内容が要約されたものを記入してください。・・・この文字は削除してください） |

様式(課)１１

　年　　月　　日

大阪公立大学大学院生活科学研究科長　様

生活科学研究科生活科学専攻

分野

 博士後期課程　　　　年次

学籍番号

名前

単位修得退学に伴う学位授与申請資格認定願

私は下記のとおり、単位修得退学を予定しておりますが、大阪公立大学大学院学則第36条第２項の規定に基づき、退学後１年以内の博士論文審査終了に向けて、学位授与申請論文を作成中しております。つきましては、退学に際して、貴研究科の課程博士学位授与申請資格を認めていただきますよう、お願い申し上げます。

|  |  |
| --- | --- |
| １．退学予定年月日 | 2025年3月31日 |
| ２．単位修得状況 | 生活科学専攻○○分野の必修△単位を修得 |
| ３．入学年度 | 2022年度単位数は、成績通知書を確認して記入すること。（修了要件の単位数は入学年度により異なりますので、研究科要覧を確認すること） |
| ４．学位授与申請予定の論文題目 | 「○○○○○○○○○○」 |
|  | 論文作成の進捗状況 | 2025年○月頃完成予定、2026年1月10日（同年3月学位授与式で学位授与される場合の提出期限）までに提出できる見込みです。 |
| ５．指導教員の所見 | （例）上記学生の研究成果を見ると、本研究科生活科学専攻の定める「学位授与審査申請要件」はすでに充足しており、また現在の論文作成の進捗ぶりから考えて、単位修得退学後１年以内に学位授与審査終了となるよう、学位授与審査の申請ができる見込みです。指導教員名前　○　○　○　○　　　　 |